

健診センター（総合医療センター）機能の拡張について

総合医療センターでは、「充実した予防医療の提供」を運営方針に掲げ、一般的な人間ドック、職場健診はもとより、胃がん、大腸がん、すい臓がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんなどの各種がん検診等を実施し、予防医療の充実に努めています。

令和3年度末で運用を終了したPET-CT装置のエリアについて、活用方法の検討を進めていましたが、現行の健診センターと一体化させて活用・拡張することで、受検者数の増加と女性の方に安心して受検していただける環境整備を併せて行うこととしました。

健診センター機能の拡張について、その概要を次のとおり報告いたします。

1. 目的

(1) 受検者数の増

一般的な人間ドック・職場健診は、時間を要する検査を複数箇所ですべて同時に検査ができる体制(検査室の増)にすることで1日当たりの受検者枠の数を増やすことができます。

この度の改修工事では、主に「超音波検査室」と「更衣室」を拡張することで、1日当たりの受検者枠数を増やし収益の確保に繋がります。

- 1日当たり受検者枠数（人間ドック） 現行：18枠 ⇒ 拡張後：24枠
- 増収見込み（年間） 58,000千円

(2) 受検環境の整備（レディースフロアの確保）

総合医療センターでは、基本的には健診センター内で検査ができる部屋配置としていますが、子宮がんの検査は産婦人科外来で行うことから、女性の受検者の方は健診センターから外来への移動が必要となっています。

この度の改修工事では、PET-CT室エリアに産婦人科外来を移設し、健診センターと一体化させることで、女性の受検者の移動を無くし、乳がんや子宮がんなどの女性特有の疾患の診療・検診を行うレディースフロアを確保することで、女性の方にリラックスして検査を受けていただける環境整備を行います。

2. 改修工事の概要

(1) 概算工事費

(単位：百万円)

項目	内容	面積	工事費
改修工事	PET-CT室改修、X線撮影室移設等	320 m ²	127
増築工事	事務室棟（軽量鉄骨平屋）	130 m ²	93
工事監理業務		一式	8
合計			228

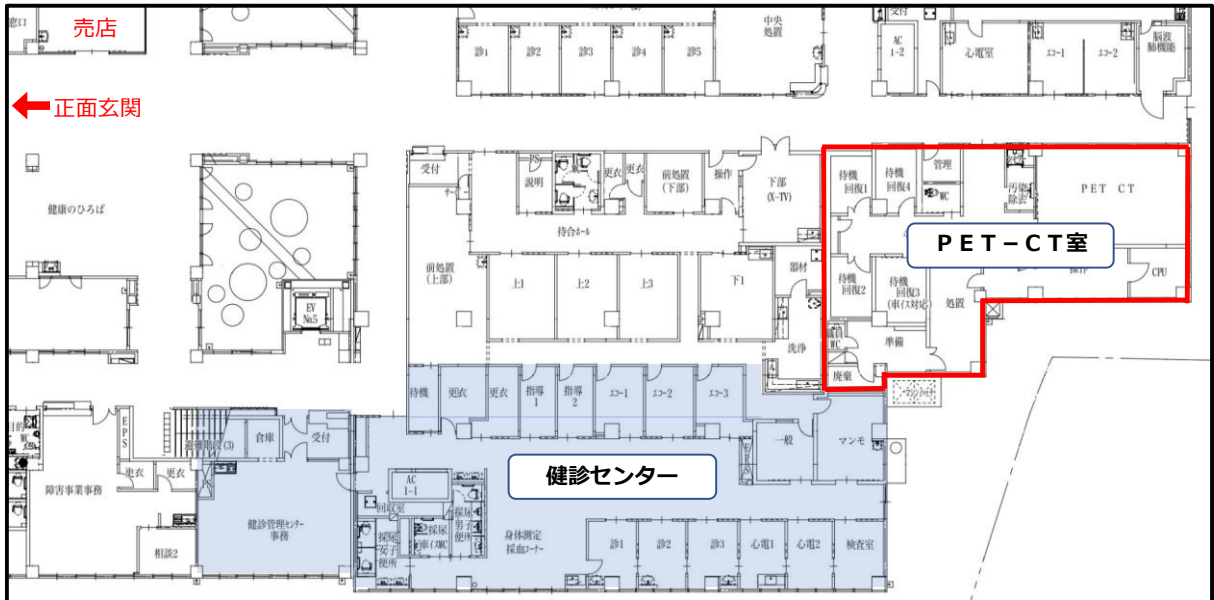
(2) 改修工事スケジュール (見込み)

工事期間 令和5年(2023)7月頃~令和6年(2024)3月頃

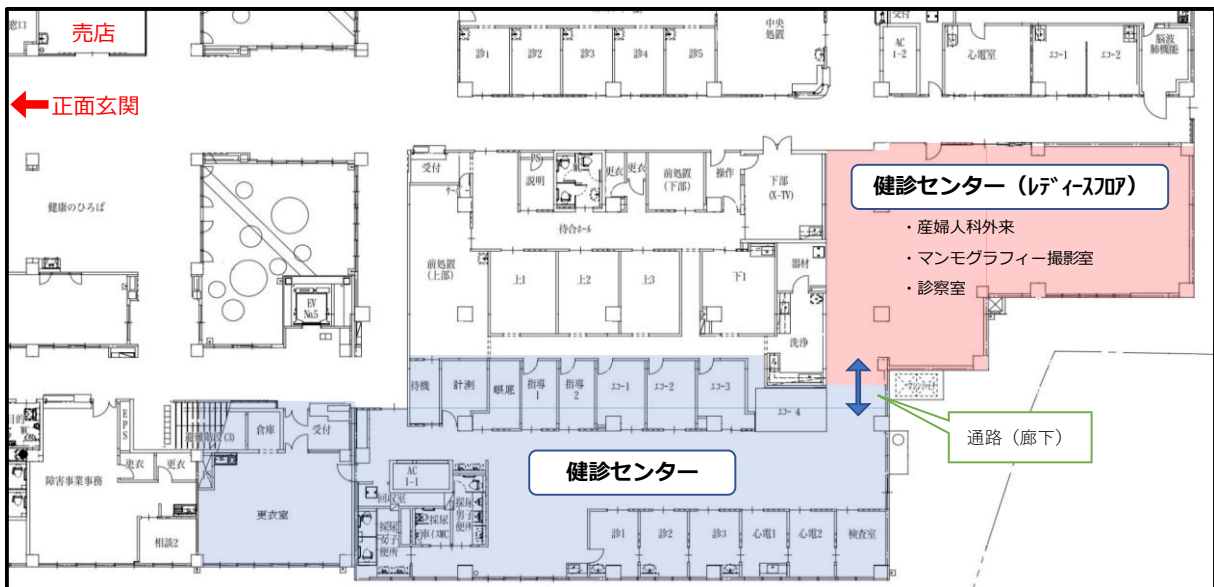
※工事期間中における健診事業は、原則継続して実施します

(3) 工事概要図 (平面図)

【改修前】



【改修後】



※事務室棟 (軽量鉄骨) は健診センター西側 (上図の下側) に別棟で建設